

2018 年度 入学 試験 問題

倫 理

(試験時間 14:50～15:50 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。

以下の文章を読み、IとIIの問いに答えなさい。

- <1> 肝心なのは、私の定めを理解すること、神がそもそも何を私のなすべきこととして欲しておられるのかをさとることなのだ。大切なのは、私にとって真理であるような真理を見出し、そのために私が生き、そして死にたいと思うようなイデー（理念）を見出す事なのだ。
- <2> 気質の性は、もとより美悪の同じからざる有り。然れども其の初めを以てして言へば、則ち皆、甚だしくは相遠からざるなり。但だ善に效（なら）へば則ち善、悪に習へば則ち悪、ここにおいて始めて相遠ざかるのみ。
- <3> 吾が心の良知は、即ちいはゆる天理なり。
- <4> 人間の知識と力は合一する。原因が知られなければ、結果は生ぜられないからである。というのは、自然は服従することによってでなければ、征服されないのであって、自然の考察において原因と認められるものが、作業においては結果を生み出す規則の役目をするからである。
- <5> 人は誰でも、仏法を悟ることができる器である。自分はその器でないと思つてはならない。教えに従つて行えば、かならずその証拠を得ることができる。心があれば、善悪を区別することができる。
- <6> 宇宙という書物は、数学の言葉で書かれており、その文字は三角形や円、そして他の幾何学の図形なのです。

<7> 理性的存在者は自分自身をまたあらゆる他の人びとをけっして単に手段としてでなく、いつも同時にそれ自身における目的として取り扱うべきであるという法則に服従しているからである。このことによって理性的存在者の、共通の客観的法則による一つの体系的結合が、すなわち一つの国が生じる。この国は……諸目的の国と呼ぶことができる。

<8> 凡そ物、根元たる者は、必ず卑き物なり。卑しとて、根元を軽視するは過なり。……さて諸々の職業の中、また農を以て元とす。如何となれば、みづから作つて食らひ、みづから織りて着るの道を勤むればなり。……さる大本の業の賤しきは、根元たるが故なり。

<9> 哲学者たちが国々において王となるのでない限り、あるいは今日王と呼ばれて、権力者と呼ばれている人びとが、真実に、かつ十分に哲学するのでない限り、つまり政治的権力と哲学的精神が一体化され、多くの人びとの資質が、現在のようにこの二つのどちらかの方向に別々に進むことを強制的に禁止されるのでない限り……国々にとって不幸のやむことはない。

<10> 私は武士道は神が日本人に賜ひし光であると信じます。……多くの点に於てイエスと其弟子とを武士の模範として見る事が出来るからであります。

I. それぞれ誰の言葉か書きなさい。人名が漢字の場合は、すべて漢字で書くこと。

(30点)

II. <1>から<10>までの言葉の中から三つ選び、それらを対照しながら、自分自身の考えを述べなさい。その際、以下の条件に従うこと。(70点)

- ・ 選んだ三つの番号を列挙すること。
- ・ 一行目に、論述のテーマ（タイトル）を書くこと。
- ・ 選んだ文章の中の語句を、それぞれ一箇所以上必ず用い、答案の中のその語句に下線を引くこと。また、その語句は、もとの文章で用いられている意味で使うこと。
- ・ 句読点や引用符号も含めて900字以上1000字以内の文章にすること。

